

2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）
第10回行動変容ワーキンググループ

自然共生サイト管理から生まれる従業員の行動変容



2026年2月6日

DAIFUKU Automation that Inspires

株式会社ダイフク
サステナビリティ推進部 環境品質グループ

1. ダイフクのご紹介
2. 社内における自然との共生の取組み
3. 地域社会と連携した生物多様性の取組み



事業概要

運ぶ | 仕分ける | 保管する = マテリアルハンドリング



会社概要

株式会社ダイフク (Daifuku Co., Ltd.)

設立

1937年5月20日 (設立から89年)

資本金

318億円 (2024年12月31日現在)

代表者

代表取締役社長 寺井 友章

従業員数

11,042人 (グループ計/2024年12月31日現在)

連結売上高

5,632億円 (2024年12月期)

国内主要拠点

本社 (大阪)、東京本社、滋賀事業所、小牧事業所

グローバル拠点

24カ国・地域

経営理念

モノを動かし、心を動かす。

ダイフクは、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会を創造します。

滋賀事業所



滋賀県蒲生郡日野町

敷地面積 (1970用地取得)

120万^m₂

在籍者

約3,300名

(従業員1,800名、パートナー1,500名)

1. ダイフクのご紹介

2. 社内における自然との共生の取組み

3. 地域社会と連携した生物多様性の取組み



環境活動のあゆみ

- 1970年 **インダストリアルパーク構想のもと工場用地取得**
- 1999年 国内でISO14001認証取得
- 2006年 マザー工場として滋賀事業所に生産機能を集約
- 2010年 **環境経営推進委員会を設置**
- 2011年 **「ダイフク環境ビジョン2020」策定**
- 2013年 **「ダイフク滋賀メガソーラー」設置**
- 2014年 **生物多様性保全活動『結いプロジェクト』開始**
- 2016年 **しが生物多様性大賞 企業部門 受賞**
- 2017年 **緑化優良工場等経済産業大臣表彰 受賞**
- 2021年 **「ダイフク環境ビジョン2050」策定**
日本自然保護大賞 教育普及部門 大賞 受賞 (生物多様性びわ湖ネットワーク)
- 2024年 **「結いの森」が環境省「自然共生サイト」認定を取得**
- 2025年 **「TNFD 提言」に基づく情報を開示**



ダイフク環境ビジョン2050

マテリアルハンドリングシステムが環境負荷ゼロで動く世界を実現します。



2030年目標

重点領域	KPI（実績評価指標）	目標
気候変動への対応 	自社CO ₂ 排出量（スコープ1+2）	60%削減 (2018年度比)
	再生可能エネルギー由来の電力比率	80% 日本は2027年に100%達成見込
	購入した製品・サービスに伴うCO ₂ 排出量（スコープ3 カテゴリ11）	30%削減 (2018年度比)
	販売した製品の使用に伴うCO ₂ 排出量（スコープ3 カテゴリ11）	
資源循環の促進 	廃棄物の埋立率	1%未満
	水使用量売上高原単位	60%削減 (2018年度比)
自然との共生 	主要拠点における生物多様性保全活動実施率	100%
	サステナビリティアクションのグローバル展開	プログラムの拡充・啓発

主要拠点における生物多様性保全活動

● 生物多様性保全活動実施率

対象拠点（海外） 11拠点のうち、7拠点が活動実施 → 63.6%（2025年）



中国：植樹



台湾：エコスタック



インド：在来種による工場緑化



インド：ベンガルタイガー（国獣）保護への寄付

● 生物多様性保全活動の実施率向上に向けて

- ・グループ全社員向けに生物多様性 e-learning を実施
- ・海外現地法人担当者とのオンラインによる情報共有・意見交換を実施
- ・滋賀事業所での研修・保全エリア見学を通じ、生物多様性の実践的理解を深化



滋賀事業所での保全エリア見学

サステナビリティアクションのグローバル展開



サステナビリティアクションメニュー一例

サステナビリティアクション (環境・社会活動)



従業員 自主的・自由参加型

廃食用油で作られた
リサイクル石鹸



ヨシ製ノート



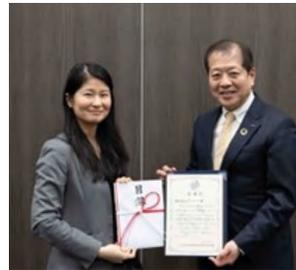
洗剤不要の
エコたわし



エコ商品、地震復興支援商品、
福祉施設手作り商品などに交換

環境組織・団体

2030生物多様性
枠組実現日本会議



滋賀県立琵琶湖博物館



インドネシアのジャカルタ湾
マングローブ林再生事業



間接的な環境貢献

滋賀事業所 生物多様性保全活動

ハッチョウトンボ
保全湿地

結いの森
自然共生サイト認定
30by30
(自然共生サイト2.63ha)



ヤマトサンショウウオ



ハッチョウトンボ



ハヤブサ



トノサマガエル



コチドリ



キキョウ



トゲアリ



イシガメ

約**1000**種の在来種
希少種は**70**種以上



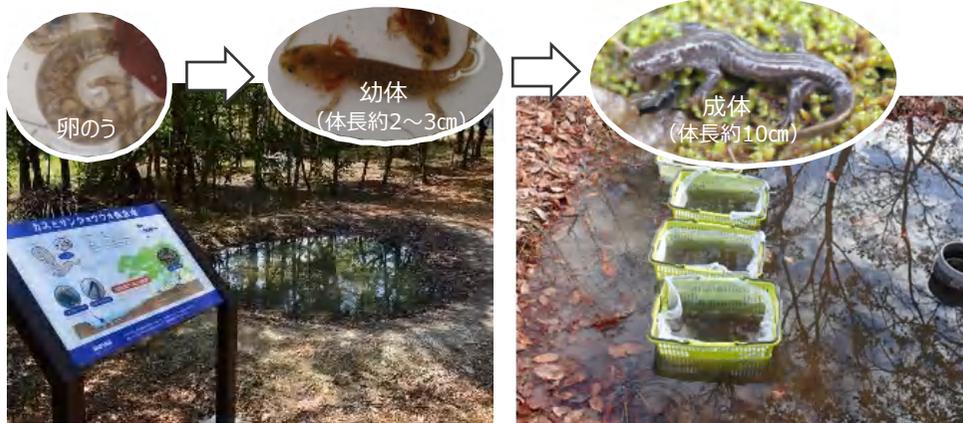
オグマサナエ



キンラン

滋賀事業所 自然共生サイト「結いの森」での活動

● ヤマトサンショウウオの保全



生息場所として造成した保全池

網かごで飼育

● 琵琶湖博物館と連携した生息域外保全



ヤマトサンショウウオの一般展示

● 従業員・家族向け自然観察会



陸生昆虫の観察

保全池の池干しを活用し、水生昆虫を観察

● 小学校向け環境学習、出前授業

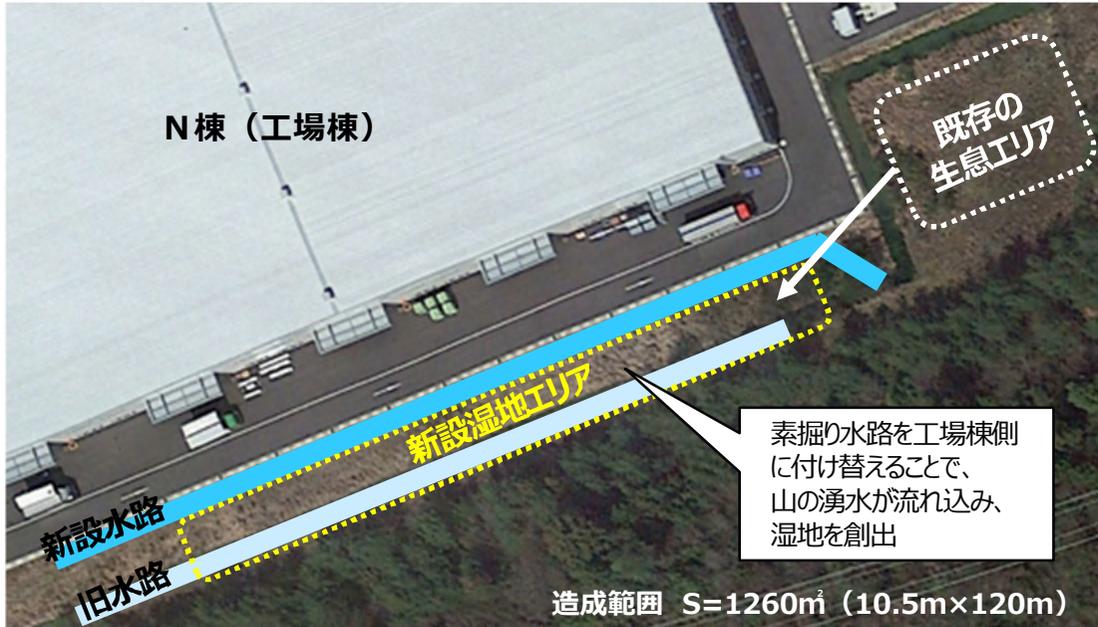


ヤマトサンショウウオの保全活動を紹介

地域の学童保育所での出前授業

滋賀事業所 ハッチョウトンボの保全活動

●ハッチョウトンボの生息地造成、移殖（2023年6月～）



- ・体長 2 cm、日本最小のトンボ、5月～10月頃に発生
- ・貧栄養湿地（＝養分の少ない湿地）を好む
- ・滋賀県レッドデータブック「要注目種」
- ・日野町内での確認記録がなく、事業所内も限定した場所に生息



新設水路の掘削



湿生植物を移植



生息エリアの幼虫、成虫を新設湿地エリアに移殖



見学歩道・看板設置（2025年10月）

1. ダイフクのご紹介
2. 社内における自然との共生の取組み
3. 地域社会と連携した生物多様性の取組み



生物多様性びわ湖ネットワーク

● トンボ100大作戦～滋賀のトンボを救え！

作戦① 滋賀県の全トンボ100種を探そう！

作戦② 滋賀県のトンボを守ろう！

作戦③ みんなに知らせよう！



これまでの県内調査で89種を確認



琵琶湖博物館で展示を開催中（2/3～3/1）



10年の活動をまとめた『トンボと企業と生物多様性』を発刊

トンボを通じて、滋賀県の生物多様性を守る！



参画企業：旭化成株式会社、積水樹脂株式会社、ダイハツ工業株式会社、株式会社ダイフク

ご清聴ありがとうございました

